

TAKAMATSUプロジェクト~Make your dream take wings~

目的：「大学卒業後にどのように生きていくか」までを見通しながら、自分の進路実現に向けて、どのように現在を生き、どのような未来を築いていくのかを考えて周囲と協働して行動できる生徒を育成する。

※キャリアプラン＝進路意識高揚策（キャリア学習と課外活動など含めた総合学習）とサクセスプラン＝学習支援策が相乗的に活きる教育活動を行う。

（学力があってその進学、人間力があってその学力）

- ↓ 行事ごとに必ず、事前学習（目的提示&調査学習など）、事後学習（感想・振り返り記入）を行わせる。
- ↓ 職員会議で、事前に目的と計画を提示し、事後に生徒の振り返りを含めて実施内容を報告する。
- ↓ 生徒には全ての活動について記録を取らせていく。（校外活動、資格取得なども）

*このプランはあくまでも三年間の教育活動の全体的な流れであり、基本となるものです。個々の活動を規定するものではなく、目標に向けての、生徒の学びおよび教員の教育活動の、見取り図的なものです。

		キャリアプラン (キャリア・進路意識高揚)				サクセスプラン (日々の学習)					
		全校	学年	目的 (生徒視点)	教師の活動	総探 コマ	教科学習・調査・校外模試	目的 (生徒視点)	目的 (教員視点)	支援 上層層 中下層層	
1 年 時	上旬		入学式 学習オリエンテーション	飯田高校生として、どのように生活していくか（考え方も含め）どのように学習していくか、さらにキャリア教育の意義についても理解。	担任団+教科担当+副担任 「飯田高校生になる」指導。進路学習心得・生活心得・年間計画・情報モラル・教科学習・アイズレック 等。	5	ブリッジ教材 4/9実力テスト(スタサポ)	中学時学習内容に抜けがないかの確認。学習習慣の振り返り。	中学時学習内容に抜けがないかの確認。高校生活を開始するうえでの注意の把握。集団生活のルール	PDCAサイクル、特に振り返りの重要性を意識づけ。	
	4月 中旬				年間計画再立案。実際の生徒の状況をふまえながら、年間計画を調整。						
	下旬		進路希望調査 (キャリアプラン)	自己の将来像を具体的にイメージ開始。	希望を集約し生徒の進路意識を把握し、指導に反映。 日々の学習への心配も吸い上げ。 PTA総会資料とする。	1				予習→授業→復習のリズムを意識づけ。適宜学習記録調査。生徒の心配等を吸い上げ。	
	上旬		教育活動支援システム オリエンテーション	教育活動支援システムの利用について理解。特に、学びの軌跡を電子ポートフォリオへと蓄積することの必要性・意義について理解。	教育活動支援システム(Classi)環境整備。 特に、学びの軌跡を電子ポートフォリオへと蓄積することの必要性・意義について解説する。					長いGWの学習計画を確認。	
	中旬	南信総体									
	5月 中旬	(探究学習 講話(探究導入) 5/16)				2					
	下旬	PTA 総会	学年 PTA		学年としての進路学習指導スタンスを、家庭に対して具体的に表明。 進路学習指導についての具体的な情報(大学入試の基本的流れなど)を、タイミングをふまえながら、適宜紹介。 家庭としての進路学習指導についての意識を、教員として見立てる。要望・疑問等を吸い上げ、今後の指導支援に反映。		家庭学習 重点週間	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・内容定着の確認	学表 び層 的 向 な か 知 う 識 安 ・ 勢 理 醸 成 に の 留 積 ま ら な い ・ 思 考 判 断 表 現 ・	整 て 生 活 具 体 的 な 見 方 を 立 て て 支 援 活 動 家 庭 ・ 連 絡 日 学 に 向 け て 話 す 題 い
	上旬	東大芸 術鑑賞 大会		教養醸成。 主体性・協働性の育成。			第1回考査				
	中旬	北信越 大会	信大説明会	地元国立大学の講義・説明に触れ、高校と大学の学びの違いを知り、進路意識を醸成。							
			先輩に学ぶ	年齢の近い卒業生というモデルケースに接し、具体的な成功体験・失敗体験を知ることで、進路意識を深め、学習習慣を再確立。							
	下旬	高松祭	(探究学習 7月中間報告へ向けての進捗を簡易報告)			1					
	上旬						第2回考査	授業内容のまとめ。学習習慣の振り返り。	学習習慣確立状況・内容定着の確認		
	7月 中旬		進路講演会 (予定)	著名な研究者、学者の学問の一端を知る。 先を見据えた生活ができているか、3年生までのイメージの持ち方を考える。 中高の授業とは違う、広がりのある積極的な学問研究を知る。	講師の選定(3月から開始) 事前学習をLHRの他にどの教科の時間にやるか(情報、国語、社会)等計画。 積極的な質問が出せるように指導。 この時期にその学年に必要な内容を担任団で早めに検討。	1	7/6進研模試	「大学進学」及び「全国」を意識。	「大学進学」及び「全国」を意識付け	なか夏 提 案 た み め の 最 具 大 体 限 的 活 動	活 家 用 庭 ・ 連 絡 日 学 に 向 け て 話 す 題 い
	下旬		(探究学習 中間報告)			3					
	8月 上旬		オープンキャンパス 就業体験 看護体験	キャリア学習として、自分の進路に合わせた個別のオープンキャンパスや就業体験で、視野を広げる。	計画書、報告書を書かせ、計画書の段階を確認し必要ならばアドバイス。報告書で良いものをプレゼンできるように生徒に準備指導。 生徒が受け身で参加するのではなく、問題意識や意欲を持って積極的に活動できるように支援。					・視野を広げるための具体的な提案・情報おろし。 ・時間を無駄にさせないための具体的な指導。	
	中旬										
	下旬		(探究学習 講話(信州学))			2	実力テスト	夏休み中に取り組んだ復習内容の確認。	夏休み中に取り組んだ復習状況の確認	学習リズム・姿勢再確立。学習集団再構築。	



